

# 委員提出資料

資料6 - 1 小杉委員提出資料

資料6 - 2 野上委員提出資料

資料6 - 3 和田委員提出資料

第6回高校教育部会意見提出

労働政策研究・研修機構 小杉礼子

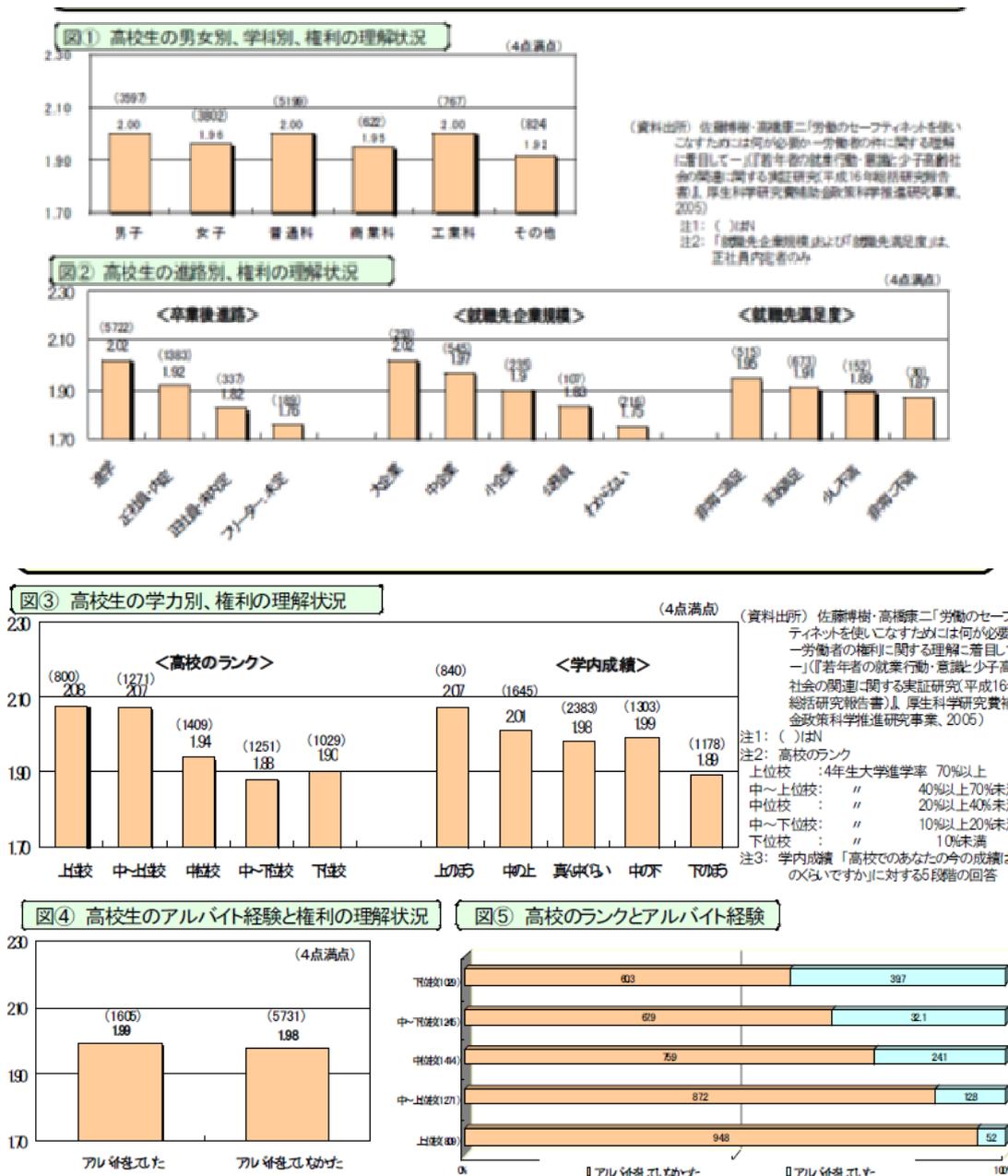
下記の通り意見を提出します。

< 人格形成の場としての機能の再構築 >

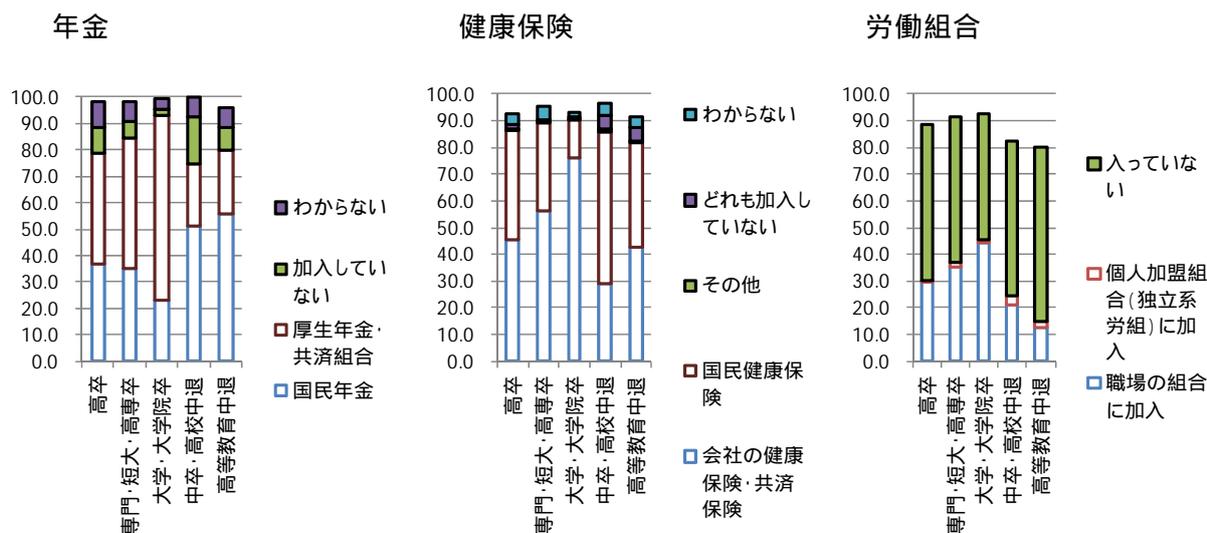
1. コミュニケーション能力・規範意識・社会参画の態度に関して

社会人・職業人として必須の社会的な知識・態度を獲得する場としての高校の機能ということであれば、ぜひ、「労働者・使用者としての権利・義務」や「社会保障制度等に関する知識」を現実的に学ぶ機会を確保してほしい。

「今後の労働関係法制度をめぐる教育の在り方に関する研究会報告書」(厚生労働省・2009)



図表1 都内在住 20～29歳(専業主婦と学生を除く)の社会保険、労働組合加入状況



出所：JILPT(2011)「第3回若者のワークスタイル調査」結果から作成。

## 2・中途退学に関して

ニート支援機関来所者調査(社会経済生産性本部 2007「ニートの状態にある若年者の実態及び支援策に関する調査研究報告書(厚生労働省委託)」)による来所者の特徴は、

**学校中退経験者 31.7% (高校中退 12.0%、大学・短大中退 12.0%、専門学校・各種学校等中退 7.7%)、不登校経験 35.9%、学校でいじめられた経験 55.0%、引きこもり経験 49.5%、人に話すのが不得意 64.4%**

となっており、中途退学をはじめ学校時代の経験がニート状況に至る背景にある人は少なくない。学校を離れてから支援機関に至るまでの時間が長いほど回復に時間がかかっており、中途退学後、孤立させることなく社会的支援につなげることが重要である。また、中途退学経験は、労働市場に出てからも大きなハンディなる現実がある(図表2, 3)。地域若者サポートステーションなど、学校外の資源も先生方の手が回りにくいところについて補完的に活用し、個々の生徒の課題に対応して中退予防、転学、進路変更などの支援を充実してほしい。

また、上級学校での中途退学はその前段の学校の指導にも責任の一端があると思われる。学校間連携の充実も必要ではないか。

図表2 都内在住 20～29 歳(専業主婦と学生を除く)の学歴別卒業(中退)直後の状況

	正社員(公 務含む)	アルバイト ・パート	契約・派 遣等	自営・家 業	失業・無 職	その他・無 回答	合計	N
男性 高卒	46.6	34.7	4.1	3.2	9.1	2.3	100.0	219
専門・短大・高専卒	66.1	16.3	8.6	1.7	6.4	0.9	100.0	233
大学・大学院卒	78.1	7.5	4.7	2.1	6.5	1.2	100.0	429
中卒・高校中退	10.7	46.4	5.4	5.4	32.1	0.0	100.0	56
高等教育中退	9.5	63.5	9.5	2.7	10.8	4.1	100.0	74
その他不明	31.6	21.1	5.3	0.0	10.5	31.6	100.0	19
男性計	59.2	21.7	5.8	2.4	8.8	2.0	100.0	1,030
女性 高卒	43.2	36.4	9.3	4.3	4.3	2.5	100.0	162
専門・短大・高専卒	58.5	20.4	12.9	0.6	5.6	2.0	100.0	357
大学・大学院卒	74.3	7.9	9.8	1.2	5.8	1.0	100.0	417
中卒・高校中退	2.9	70.6	0.0	5.9	20.6	0.0	100.0	34
高等教育中退	4.3	58.7	8.7	6.5	21.7	0.0	100.0	46
その他不明	41.7	25.0	8.3	0.0	0.0	25.0	100.0	12
女性計	58.1	21.3	10.4	1.8	6.6	1.8	100.0	1,028

図表3 都内在住 20～29 歳(専業主婦と学生を除く)の学歴別これまでの職業キャリア

	正社員 定着	正社員 転職	正社員 から非 典型	正社員 一時他 形態	非典型 一貫	他形態 から正 社員	自営・ 家業	現在無 業	その 他・不 明	合計	
高卒	26.5	5.5	6.8	4.1	22.4	23.3	5.5	4.6	1.4	100.0	219
専門・短大・高専卒	35.6	13.3	9.0	3.4	13.3	15.0	4.7	4.7	0.9	100.0	233
男性 大学・大学院卒	60.6	7.0	5.6	2.6	8.6	7.7	3.0	4.2	0.7	100.0	429
性 中卒・高校中退	5.4	3.6	1.8	0.0	21.4	33.9	16.1	16.1	1.8	100.0	56
高等教育中退	1.4	1.4	2.7	1.4	36.5	33.8	6.8	12.2	4.1	100.0	74
男性計	39.8	7.5	6.1	2.8	15.7	15.8	4.9	5.5	1.8	100.0	1,030
高卒	14.2	2.5	19.1	4.3	40.1	6.2	4.3	8.0	1.2	100.0	162
専門・短大・高専卒	34.5	6.7	11.5	3.9	26.9	10.1	2.5	3.4	0.6	100.0	357
女性 大学・大学院卒	58.8	6.2	5.8	1.7	14.9	6.5	2.2	3.6	0.5	100.0	417
性 中卒・高校中退	2.9	0.0	0.0	0.0	76.5	11.8	2.9	5.9	0.0	100.0	34
高等教育中退	2.2	0.0	2.2	0.0	65.2	8.7	4.3	17.4	0.0	100.0	46
女性計	38.6	5.3	9.5	2.7	27.4	8.0	2.7	5.0	0.8	100.0	1,028

出所：労働政策研究・研修機構(近刊)『大都市の若者の就業行動と意識の展開 - 「第3回 若者のワークスタイル調査」から - 』

## 規範意識や社会参画の態度の育成及び中途退学や不登校対策について

### 1 規範意識の育成について

- ・ 埼玉県における道德教育の推進
- ・ 高等学校における道德教育（在り方生き方教育）
- ・ 夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業
- ・ マナーアップキャンペーン

### 2 社会参画の態度の育成について

- ・ 埼玉の子ども 70 万人体験活動

### 3 中途退学対策について

- ・ 中途退学防止の取組
- ・ 自分発見！高校生感動体験プログラム事業

### 4 不登校対策について

- ・ いじめ・不登校対策相談事業
- ・ 埼玉県の不登校児童生徒数と埼玉県及び全国の割合の推移

( 1 ) のテーマ

規範意識や社会参画の態度の育成について

( 2 ) のテーマ

中途退学や不登校対策について



平成24年3月9日  
埼玉県教育委員会

## 目 次

	ページ
埼玉県における道德教育の推進 .....	1
埼玉県の高専学校における道德教育の推進状況について .....	2
夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業 .....	3
西武鉄道・ローソンとの合同マナーアップキャンペーン .....	4
埼玉の子ども 70 万人体験活動における「高専学校体験活動」 .....	5 ~ 6
埼玉県における中途退学防止対策について .....	7
自分発見！高校生感動体験プログラム事業 .....	8 ~ 9
いじめ・不登校対策相談事業 .....	10
埼玉県の不登校児童生徒数と埼玉県及び全国の割合の推移 .....	11

# 埼玉県における道徳教育の推進

## ◆要 因

規範意識やモラルの低下

努力、忍耐の精神の欠如

家庭の教育力の低下

## ◆子どもたちの課題

・暴力行為 ・いじめ ・不登校 ・自殺 ・万引きなど

子どもたちの規範意識を高め、豊かな心をはぐくむ道徳教育の推進

平成21年度

## 校長の道徳教育の方針

道徳教育推進教師を中心とした組織づくり

道徳教育は、道徳の時間を要として学校の教育活動全体を通じて行うもの

平成22年度

## 要となる道徳の時間の充実

### 「彩の国の道徳」

小学校（低・中・高学年）  
中学校・高等学校用

○郷土の偉人や伝統文化、「規律ある態度」、情報モラルや公共マナー等を題材とした豊富な教材



## 他の教育活動との関連

### 「彩の国の道徳」実践事例集

- 「彩の国の道徳」を活用した道徳の時間と他の教育活動との関連を例示
- 教員の指導力の向上を図るための資料



平成23年度

## 学校・家庭・地域が一体となった道徳教育の推進(道徳教育ムーブメント)

《保護者や地域の人》

知る

学校だより  
学校HPなどの充実

参加する

道徳授業公開  
保護者説明会などの実施

ともに考える

保護者参加型の授業  
学級懇談会などでの話題

みんなで育てる

P T A  
学校応援団などとの協力

## 家庭・地域との連携

### 家庭用「彩の国の道徳」

- 子どもの成長を記録できる書き込み資料
- 親子で話し合える読み物資料
- 子育てに役立つコラム



夢や目標に向かってたくましく生きることができる子どもたちを育てる

# 埼玉県の高等学校における道徳教育（在り方生き方教育）の推進状況について

## 平成20年度

H21年1月  
在り方生き方教育指導資料  
「明日をめざして」の配布  
(各校4~5冊・平成21年度に活用)  
H21年3月  
高等学校学習指導要領告示

- H21年3月  
推進方針策定（周知事項）
- ・ LHR等を活用
- ・ 1年間に5回以上実施
- ・ 在り方生き方教育推進委員会等の設置
- ・ 教材資料の積極的な活用

### 推進計画

- ・ 校長会での説明（1月）
- ・ 教務主任等研修会の開催（1月）  
（「明日をめざして」の活用等の説明）
- ・ 推進委員会等の設置

## 平成21年度

H22年3月  
・ 在り方生き方教育教材資料集  
・ 「明日をめざして」（全生徒分）の配布

### 推進計画

- ・ 「明日をめざして」の活用
- ・ 各学年のLHR計画等に3回以上を設定し、実施。
- ・ 教務主任等研修会の開催

## 平成22年度

H22年4月～  
・ 「明日をめざして」の活用  
・ 全体計画に基づく  
在り方生き方教育の全校実施  
（学習指導要領総則の先行実施）

### 推進計画

- ・ 全体計画等の作成、提出
- ・ 全体計画に基づき、LHR等において5回以上実施
- ・ 実施報告書の作成、提出

## 平成23年度

H22年4月～  
・ 「明日をめざして」の活用  
・ 全体計画に基づく  
在り方生き方教育の全校実施  
（学習指導要領総則の先行実施）

### 推進計画

- ・ 研究推進モデル・協力校の指定
- ・ 全体研修会の実施（年間2回）
- ・ 全体計画等の作成、提出
- ・ 全体計画に基づき、LHR等において5回以上実施
- ・ 実施報告書の作成、提出

《参考》夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業

締切は6月30日

### 研究推進モデル校等一覧

#### 研究推進モデル校（1校）

- ・ 浦和東高校

#### 研究協力校（5校）

- ・ 飯能高校・白岡高校・妻沼高校
- ・ 川口北高校・川口東高校

# 平成23年度

## 「夢と豊かな心をはぐくむ講演会」事業



埼玉県教育委員会では、多様な分野で活躍している方々を「心の先生」として学校に招き、子どもたちに努力することや命の大切さなどを熱く語っていただく「夢と豊かな心をはぐくむ講演会事業」を実施しています。

平成23年度は、埼玉西武ライオンズ、日本サッカー協会、パラリンピックキャラバン、埼玉県看護協会の4つの民間団体と連携を図り、各団体の教育プログラムを生かした講演会を展開していきます。

### 平成22年度実績(42校実施)

※は「地域自殺対策緊急強化基金」による講演会実施校を合わせた校数

#### 学校選択

#### 学校で講師を選択

【平成22年度実績】 2校

- 越谷市立越谷西中学校  
大宮アルディージャ  
トータルアドバイザー 清雲栄純氏
- 県立浦和東高校  
スポーツキャスター 青島健太氏

#### 民間連携①

#### 日本サッカー協会との連携

(小学5年生対象)

「JFAこころのプロジェクト」

【平成22年度実績】 6校

- 小学校6校で実施  
(深谷市立川本北小学校 他)

#### 民間連携③

#### 埼玉西武ライオンズとの連携

「夢を叶えるために大切なこと」

【平成22年度実績】 10校

- 小5校、中3校、高2校で実施  
(県立寄居城北高等学校 他)

#### 民間連携②

#### パラリンピックキャラバンとの連携 「体験講座」

【平成22年度実績】 20校(※)

- 小学校17校、中学校3校で実施  
(八潮市立潮止中学校 他)

#### 民間連携④

#### 埼玉県看護協会との連携

「一緒に話そう看護の出前授業」

【平成22年度実績】 4校(※)

- 小学校2校、高校2校で実施  
(県立草加高校(定) 他)